

台風接近！風への対策は？



「風速〇m/s」って、どのくらい危険？

■風速10m/s以上（やや強い風）

風に向かって歩きにくい。傘がさせない。樹木全体が揺れる。

■風速15m/s以上（強い風）

転倒する人が出る。電線が鳴り始める。雨戸やシャッターや揺れる。

■風速20m/s以上（非常に強い風）

何かにつかまらなると立てない。看板が落下・飛散する。車の運転が困難。

■風速30m/s以上（猛烈な風）

屋外の行動は極めて危険。走行中のトラックが横転する。

■風速35m/s以上（猛烈な風）

多くの樹木が倒れる。ブロック塀が倒壊するものがある。

■風速40m/s以上（猛烈な風）

住家で倒壊するものがある。鉄骨構造物で変形するものがある。



自宅が安全か確認してみましょう

物が倒れたり飛んだりしないように確認が必要です。家や倉庫の中に入れておけるものはしまっておきましょう。窓が割れた時の備えもしておきましょう。

一戸建てのチェックポイント

テレビアンテナ

錆びたりゆるんだりしていないか

雨戸やシャッターのない窓

割れたガラスの飛散防止のためにカーテンを閉めたり、窓に飛散防止フィルムをはる

物干し竿

飛ばされないように下に降ろしておく

庭木

飛ばされたり、倒れないように固定する

植木鉢

強風で飛ばされそうなものは家の中へ

屋根瓦やトタン

めくれたり壊れていないか

雨どい

枯葉や砂がつかまっていないか

雨戸やシャッター

ちゃんと閉まるか点検補修を

プロパンガス

固定されているか確認

窓

ひび割れやがたつきはないか確認



屋根の確認は、危険な場合は止めましょう。

※解説図はweathernewsの資料を引用

マンションのチェックポイント

- ・バルコニーのものを安全な場所に移動もしくは固定し、排水溝を掃除する。
- ・窓のサッシにガタつきがないか確認し、飛散しないようシートかテープで養生する。
- ・人がいる部屋のカーテンは閉めておく。
- ・台風が通過中は、換気システムを停止するなど外気の進入を防ぐ。

